

## Raspberry Piの導入実演

近年、Raspberry Pi（ラズベリーパイ）は、教育現場から産業用途まで幅広い分野で活用されています。その為、IoTやエッジコンピューティング、人工知能の実証実験・導入においても同様に注目を集めています。

本ウェビナでは、1日目にはRaspberry Piシリーズの最新版「Raspberry Pi 5」を活用したシステム構築の実例を紹介し、2日目にはエッジAIを導入する際に直面する課題や、その解決に向けたアプローチを紹介し、さらに、実運用に向けて検討すべき周辺機材やAIアクセラレータなど、導入に役立つハードウェアも紹介します。

## クラウドAIとエッジAIの違い

クラウドAIには高い計算能力と大規模データ処理というメリットがあります。一方、エッジAIはリアルタイム性に優れ、ネットワーク接続を必要としないというメリットがあります。また、プライバシー保護に優れ、マイコン動作時には低消費電力で動作する点も特徴です。

このように、クラウドAIとエッジAIという2つのAI実行環境の違いを、技術的な特徴やそれぞれのメリット・デメリットを比較しながら、具体的な活用シーンや選定時のポイントとともに紹介しました。

## エッジAI実用化への課題

近年、注目を集めるエッジAIの実用化に向けた課題について、実際の開発現場で起こりうる問題とともに、最新のアプローチを交えて解説しました。さらに、人工知能処理に適したハードウェアの選定、消費電力の制約、周辺機器やクラウドとの通信に関する工夫、AIマイコンなどを紹介しました。

エッジAIの導入を検討している技術者や企画担当者に向けた、現場目線での実践的なヒントが得られる内容です。

## 人工知能による物体検出実演（RZマイコン）

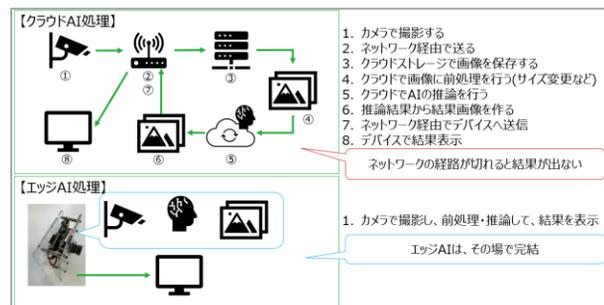
ルネサスエレクトロニクスのRZ/V2Lマイコンを搭載した「RZ AIカメラ評価キット」を用いて、リアルタイム物体検出の実演手順を解説しました。リソースが限られたマイコンでも物体検出の人工知能が動くことを、ハードウェア構成とともに紹介しました。

リアルタイム性、低消費電力などの観点から、エッジAIの可能性を大きく広げる内容となっています。

### ■ 本日の登壇者 ■



株式会社リョーサン  
応用開発部  
東 孝喜



クラウドAIとエッジAIの違い  
出所：投影資料より一部抜粋

[他記事、ウェビナ、お問い合わせはこちら](#)



エンジニアによりそうマガジンサイト